



おの ゆきのぶ
小野 幸宣
(創政会)

● 民間事業所労働基本調査結果は ● 市内の各診療所の経営現状は

質問 今年度初めて実施した奥州市民間事業所労働基本調査の結果は。地方公務員法では職員の給与は、生計費並びに国及び他の地方自治団体の職員並びに民間事業所の給与、その他の事情を考慮して決めることある。

市長 年間の支給額は事務系で民間は357万円、市は563万円。市が206万円高く1・58倍。技術系で民間は306万円、市は579万円、218万円高く1・61倍である。

24年度も調査し、わかりやすい分析に努め、市民へ情報を開示し、市職員給与、勤務条件などの参考にしていく。

質問 市内の各診療所の経営現状、特に収支の状況は独立した企業会計でなく見えにくいので、近年医師の退職もあり減収し一般会計からの繰入れが多くなりつつある実情を伺いたい。

各診療所の人件費率、病床利用率、繰入額はいくらか。

又患者一人当たりもいくらか。

前沢区内における民間の医療環境はどうか。

市長 市内に9診療所を有し前沢市は病床19床を有する。

・衣川は診療所は常勤医1名であり繰入金が多くなっており、更に最近開業する医院も多く、在り方を検討していく。各診療所の繰入金が多くならないよう経費削減に努力する。



医療収支補填年間1億6千万円の前沢診療所

人件費比率は前沢診療所82・7%、衣川診療所83%、衣川歯科診療所150%である。

病床利用率は前沢43%、衣川37%である。

繰入金は公債分除きで、前沢は1億6000万円、患者一人当たり6800円。衣川診療所は1億1300万円、患者一人当たり7100円。衣川歯科は3442万円、患者一人当たり5000円である。

医療環境は、病院1ヶ所（病床249）、医院9カ所、歯科医院5カ所である。

質問 前沢、衣川3診療所の医療収支補填が3億円だが、金ヶ崎では診療所化して年間5005万円の繰入れで、患者一人当たり2300円で、比較すると二億円の差額となる。当市は経営者不在の現状だが。

市長 指摘の観点もしっかり検討していきたい。



おいかわ よしあき
及川 善男
(日本共産党)

● 水需要計画を見直し水道料金の軽減を

質問 奥州市は平成26年度から胆沢ダムより本格受水を行う計画である。これに伴い、奥州金ヶ崎行政事務組合は、来年度から2カ年計画で約8億円を投じ、たんこう浄水場の第2期整備事業を実施する予定だ。しかし、

奥州市の水需要は伸びておらず水需要計画を見直し、既存水源を活用しながら第2期整備事業を延期し、水道料金の引き上げを行うべきではない。自己水源の活用、水源の分散は、この間の震災の経験からも重要ではないか。また、ダムからの受水の責任水量の見直しを国に要求し、市民の負担軽減を図るべきと考える。

市長 水需要は伸びていないが、既存水源の耐用年数などから、浄水場の整備は必要と考えている。既存水源は可能な限り活用していく考えである。責任水量の見直し等について、可能かどうか国と交渉する。

質問 水沢区以外の市民の中に、シンクタンク（政策アドバイザー）の提言は、水沢の関係者だけで協議し、水沢中心のまちづくりを進めるものではないか。

総合支所の機能が縮小され、周辺地域の切捨て、住民サービスの著しい低下をきたすのではないかと心配している方がいる。シンクタンクの提言を、市の施策に取り込むのは止めるべきではないか。

市長 誰が提言したかではなく、その提言の内容がどうかだ。誰の提言でも、良いものは市政に反映させていきたいと考えている。また、誤解されている方がいるようだが、総合支所を無くするなどいうことは全く考えていない。



たんこう浄水場